

上尾丸山公園

「大かいぼり祭」

～初めて大池の水を全部抜きました～

みどり公園課 TEL775-8129・FAX775-9906



上尾丸山公園では水質改善と在来種の生態系を再生させるため、昨年12月から3月にかけて市民の皆さんと協働で「かいぼり」と「池干し」を行っています。園内で最も広い水域である大池と、大池につながる修景池を昨年11月下旬から排水しました。12月21・22日には、市民ボランティアの皆さんなどが同池に入り、水たまりに残った魚類などを捕獲する「大かいぼり祭」を開催しました。今後「池干し祭」を開催し、池底観察会や浅場作りによる水辺の整備活動を行います。

かいぼりとは

元は農業用水のため池の水を農閑期の冬場に抜き、堆積した泥を取り除いたり、堤防の修繕、池底の天日干しを行うためのものでした。最近では、水質改善や外来生物の駆除を目的として行われています。

事前準備

昨年2月11日、文化センターで大池の将来像を考えるシンポジウムを開催し、84人が協働によるかいぼりの成功事例やかいぼりの効果・目的を学び、大池の再生について考えました。

また昨年8月には、市と協働する市民パートナー「上尾水辺守」を市内外の20～70代の男女18人で結成し、10月までに5回の研修プログラムを実施して、かいぼりや水辺再生に関する知識や技術を習得しました。



「上尾水辺守」の皆さん

「大かいぼり祭」の成果

12月21・22日に、魚類捕獲を実施しました。当日は、市民ボランティアとして「上尾水辺守」や当日ボランティアの「おさかな連」など、約270人が参加しました。池底からは、多くの魚類をはじめ、さまざまな物が出てきました(下表参照)。

【大かいぼり祭で発見された主な物】

種類	数量
モツゴ(在来種)	7,379
オイカワ(在来種)	62
ブルーギル(外来種)	5,160
ハクレン(外来種)	47
縄文中期の土器の一部	2
原動機付自転車	1
自転車	1

※魚類の数量は速報値です。



大かいぼり祭で魚類などの捕獲をするボランティア



生物の展示を通して自然の再生を説明するボランティア

「池干し祭」を開催

池干しによって泥の中に眠っていた水草などの種子が発芽する可能性があります。大かいぼり祭(魚類捕獲)が終わり、池底を干し上げている期間は「池干し祭」として、池底観察会や浅場作りを実施します。対・費・定・持など詳しくは『広報あげお』1月号10ページまたは市ホームページをご覧ください。

- 浅場作り当日作業ボランティア「泥かき連」の募集 時2月9日(日)・15日(土)・29日(土)10:00～12:30(受け付け/9:30・自然学習館) ※小雨決行です。 ※当日先着順です。
- 池底観察会「本当のかいぼりを知ろう!大池探検ツアー」 かいぼりの効果や目的を室内で学び、その後、実際に池底を歩いて泥の状態、湧き水、生き物などの観察を行います。普段は歩けない場所、見られない景色を味わってください。時2月1日(土)、3月14日(土) 13:30～15:00(受け付け/13:00・自然学習館) ※小雨決行です。 ※当日先着順です。

時とき 所ところ 内内容 対対象 費費用・金額 ※記載のないものは「無料」 定定員 持持ち物
申申し込み ※記載のないものは「当日、直接会場へ」 問問い合わせ